

PHASE プログラム 短期交流プログラム 令和5年度 募集要項

目 的：

- ①ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを実体験する。
- ②体験に基づくプラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。

実施期間：

令和6年3月2日(土)～3月12日(火)

実施方法：

ケニアでの実地研修

※PHASE プログラムより派遣される教員が引率します。

行 程：

別添1「行程表」

シラバス：

別添2「PHASE プログラム 短期交流プログラムシラバス（令和5年度）」

募集対象：

全学部・全研究科のすべての学生

募集人数：

5名

※応募者多数の場合は、担当教員による選考にて決定。

但し、オンライン交流プログラム参加者の採用を優先する

費 用：

PHASE プログラムから支弁

往復航空券代（長崎⇄ナイロビ）の一部（約20万円）、ケニア国内移動用車両代、OSSMA Plus 会費及び海外旅行保険料、黄熱ワクチン接種料（但し、相談料は自己負担）

自己負担

宿泊費、生活費（食費、SIM代、土産代、自由参加のプログラム代など）、交通費（日本国内移動代、ケニア国内航空券代（ナイロビ⇄ビタ）、往復航空券代（長崎⇄ナイロビ）自己負担分）、パスポート及びビザ取得にかかる費用

応募〆切：

令和5年11月24日（金）

応募先：※オンライン交流プログラムに応募する場合は、短期交流プログラムへの申込み不要

各所属学務係まで「1. 氏名（フリガナ）、2. 学籍番号、3. 所属学部/研究科・専攻、4. 学年、5. メールアドレス、6. TOEIC, IELTS, TOEFL iBT などのスコア」

PHASE プログラムとは・・・(<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/phase-program/>)

文科省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された本学プログラム『プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム』。

日本とアフリカの学生による、地球規模の課題解決を目指した、学術交流プログラムです。

<目的>

地球の健康に関するアフリカとの機動的かつ戦略的の大学間ネットワークを構築し、日本とアフリカの架け橋となり、地球規模の課題解決に向けた協働活動を指導的な立場から展開できる人材の育成

別添1

行程表

日程		内 容	実施場所	宿泊先
【1日目】 3月2日（土）	移動	移動日（長崎発） 長崎→羽田/成田→ドバイ→ナイロビ		機中泊
【2日目】 3月3日（日）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ着）		ナイロビ泊
【3日目】 3月4日（月）		ナイロビ→ビタ移動 フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【4日目】 3月5日（火）		フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【5日目】 3月6日（水）		フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【6日目】 3月7日（木）		ビタ→キスム移動 成果報告会準備	キスム	キスム泊
【7日目】 3月8日（金）		成果報告会、マセノ大学表敬訪問 キスム→ナイロビ	キスム	ナイロビ泊
【8日目】 3月9日（土）		サファリ（希望者） PHASE 参画大学表敬訪問	ナイロビ	ナイロビ泊
【9日目】 3月10日（日）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ発） ナイロビ→ドバイ→成田/羽田		機中泊
【10日目】 3月11日（月）	移動	移動日（成田/羽田着）		成田/羽田泊
【11日目】 3月12日（火）	移動	移動日 成田/羽田→長崎		

※PHASE プログラムより派遣される教員が引率します。

※内容は変更になる場合があります。

PHASEプログラム 短期交流プログラム 令和5年度シラバス

授業概要情報	担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@nagasaki-u.ac.jp
	担当教員研究室/Instructor office	長崎大学熱帯医学研究所 ケニア拠点
	担当教員TEL/Tel	内線 7866
	担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00-18:00 (Wed)
	授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	PHASEプログラム短期研修は、PHASEプログラムへの導入部であり、アフリカに不慣れな学生が、環境・文化・社会の相違を理解し、地球の健康に関する学習と協力を共同して実施するための基礎情報を共有する場と位置付ける。オンライン交流プログラムにより、訪問前のケニア側学生との対話と情報共有を行った後、ケニアを10日間程度訪問し、アフリカでのブラネタリーヘルスを実体験する。
	授業到達目標/Course goals	ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのブラネタリーヘルスを実体験し、体験に基づくブラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。
	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ■主体性/Autonomy ■汎用的能力/Generic Competence □倫理観/Ethics ■多様性の理解/Understanding Diversity ■協働性/Cooperativeness ■考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心/Interest in international / local society
	学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えたりする活動（質問への回答、授業内の小レポート、小テスト、振り返りシート、コメントシート、クリッカーなど） ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動（ペアワーク、グループワーク、ディベート、ディスカッションなど） ■C.技能習得のために実践する活動（問題演習、体験学習、実験、実習、実技、フィールドワークなど） ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動（企画立案、論理的な解の提示、プロジェクト学習、卒業研究） ■E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法（自由記述） ■F.教員からの講義のみで構成される
	成績評価の方法・基準等/Grading	ケニア研修への参加（50点）、ケニアでの討論（英語）への参加（50点）
	各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） /Class content and format	ケニアに渡航し、現場での体験をしながら、ブラネタリーヘルスを考える。
	事前・事後学修の内容/Preparation & Review	オンライン交流への参加。
	キーワード/Key word	アフリカ、ブラネタリーヘルス
	教科書・教材・参考書 /Textbook, Teaching material, and Reference book	河野茂（長崎大学学長）総監修 ブラネタリーヘルス～私たちと地球の未来のために～
	受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	ケニア渡航に関する準備
学生へのメッセージ/Message to students	ケニアに興味のある学生（英語力が必要）を待っています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Subject by teachers with practical experiences (Y/N)	Y	

No.	日程	授業内容 class contents
1	3月2日	移動日
2	3月3日	移動日
3	3月4日	ケニアでの移動、フィールド活動①
4	3月5日	フィールド活動②
5	3月6日	フィールド活動③
6	3月7日	ケニアでの移動、成果報告会準備
7	3月8日	成果報告会、PHASE参画大学表敬訪問①、ケニアでの移動
8	3月9日	PHASE参画大学表敬訪問②
9	3月10日	移動日
10	3月11日	移動日
11	3月12日	移動日